

各種システム

各システムの主な機能

	ワクチンオーダー	接種予約	接種実績管理
V-SYS (国)	○	△ ※1、※2	△ (市町村別件数のみ) 医療機関によって タイムラグの可能性あり
接種者管理システム (仮称) (国)			○ (個人と紐づけ) スキャンによるリアルタイムの可能性あり
予防接種台帳システム (市町村)			○ (個人と紐づけ) 予診票送付による 1~2か月のタイムラグ
予約システム (市町村・医療機関)		○	

連携?

※1 市町村が設置する特設会場での接種に係る予約機能

※2 医療機関の空き状況登録に基づく、予約可否状況の表示（別途、電話などで予約が必要）

接種者管理システム（仮称）による支援の検討素案

	クーポン発行	予約	接種	報告	支払管理	その他
現在の流れ	<ul style="list-style-type: none"> 各自治体がクーポン発行 	<ul style="list-style-type: none"> 接種予約システムは自治体が検討中 	<ul style="list-style-type: none"> 接種時の情報管理はクーポンとシールを中心に実施 	<ul style="list-style-type: none"> 日次でのv-sysへの報告（集計の上、入力） 	<ul style="list-style-type: none"> 予診票を基に予防接種管理システムへ入力 	<ul style="list-style-type: none"> 転居やクーポン再発行等はv-sysで変更手続

接種者管理システム（仮称）の概要

基本的考え方

- 接種の促進等を的確に行うため、国が接種状況（統計値）を確認できる仕組みを整備する。
- 引越等の広域移動があっても一意性をもって確認できる仕組みとする。
- 接種済み証明を迅速に発行できるようにする。
- 接種を忘れている人等への案内ができる。
- セキュリティを考慮し、LGWAN-ASP等の利用を想定している。
- 自治体は自団体に関連するデータにしかアクセスできない等、アクセスコントロールとログの管理を厳格に実施する。
- 実施に必要な医療機関や接種会場の補助端末は配布（貸与等）を検討する。

具体的な取組み

<ul style="list-style-type: none"> 今後、クーポン印刷する自治体向けに、統一したQRコード等の仕様を検討 	<ul style="list-style-type: none"> 基本機能を提供することを検討 複数の予約システムとの連携も検討 コールセンターによる予約も想定 	<ul style="list-style-type: none"> クーポンのQRコード等とワクチン情報等をスキャン等で送信 接種会場等での入力端末は配布を検討 	<ul style="list-style-type: none"> システムがv-sysへ報告する日次集計値が計算可能 	<ul style="list-style-type: none"> システムから予防接種管理システムへの報告用データをCSV等で提供することを検討 	<ul style="list-style-type: none"> 転居やクーポン発行時の接種履歴等のデータ引継ぎを検討
<ul style="list-style-type: none"> 既に印刷が始まっている自治体のクーポン等を、予約システムでAI-OCR等を使って効率的に入力できないかを検討 	<ul style="list-style-type: none"> 既に予約システムの開発着手している自治体等との連携インタフェースを検討 コールセンター業務に変更が発生する可能性を検討 	<ul style="list-style-type: none"> スキャンの作業は従来の検討にない追加作業になる 一方で、日次の集計作業が不要になる等、業務の軽減になる 	<ul style="list-style-type: none"> 日次集計値をRPA等でv-sys入力できないか検討 	<ul style="list-style-type: none"> 予防接種管理システムでデータ取込みが可能か要確認 	<ul style="list-style-type: none"> 重複発行を防止できる 再発行が迅速にできる

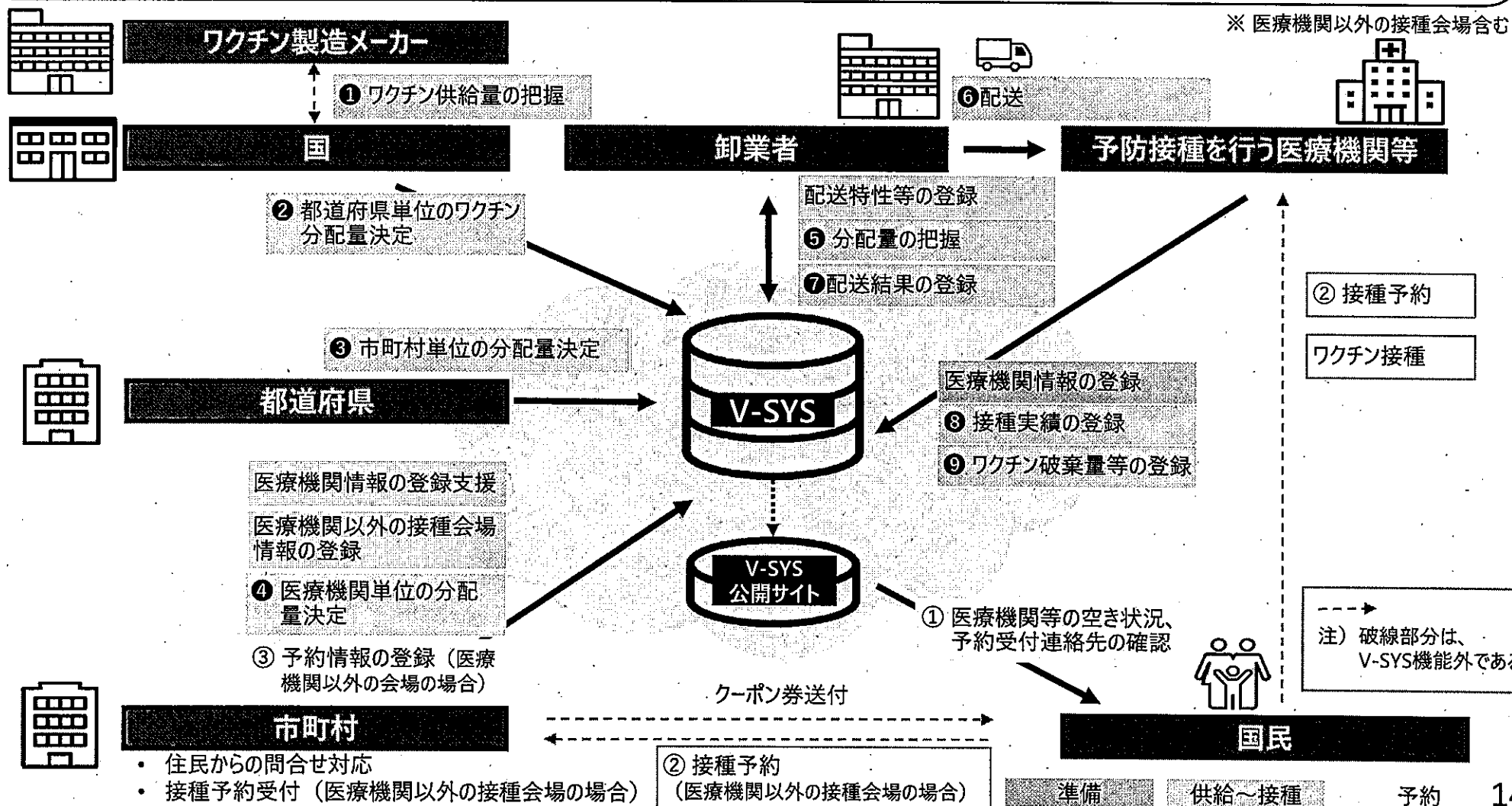
既存の取組みとの整合性

出典：政府CIOポータルより

ワクチン接種円滑化システム (V-SYS)

令和2年12月18日
第1回自治体向け説明会資料

- 国・都道府県・市町村は、ワクチン等の割当量を調整し、卸業者は、割当量に基づき各医療機関等にワクチン等を配送する。医療機関等は、接種実績やワクチン在庫量を報告する。
- 国は、クラウド上にこれらの情報伝達・共有を行うためのシステム (V-SYS) を構築する。
- 接種を行う医療機関等の情報については、国民がタイムリーに把握できるように、V-SYS登録情報に基づき公開する。



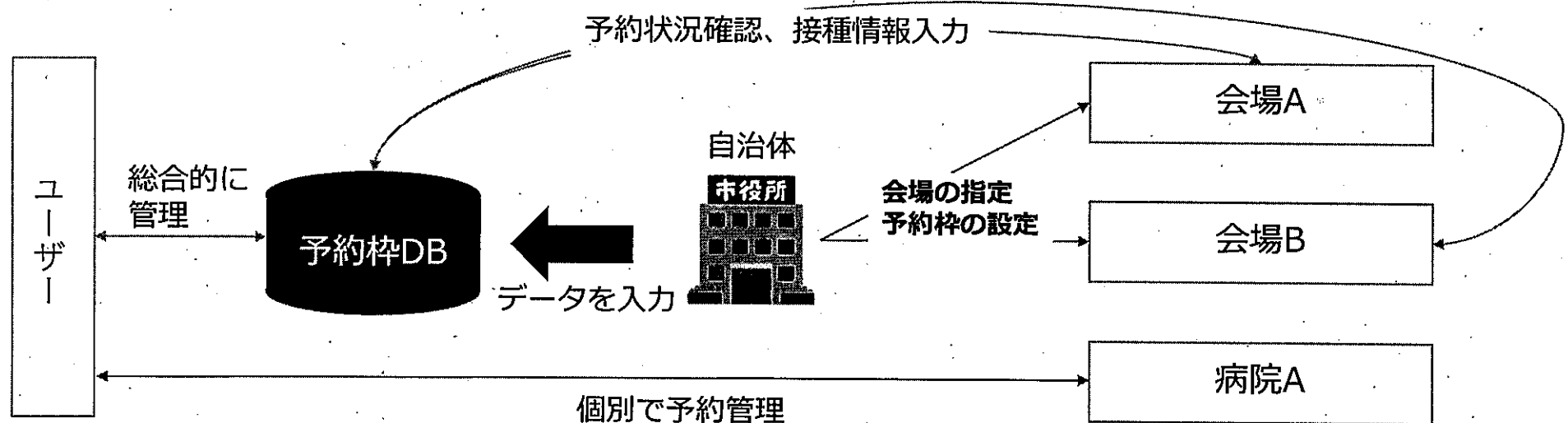
- 住民からの問合せ対応
- 接種予約受付 (医療機関以外の接種会場の場合)

- ② 接種予約 (医療機関以外の接種会場の場合)

システム運用の想定

予約枠を一元的に管理することで、効率的な予約を推進

- 本提案ではワクチン接種予約場所が複数ある場合も対応可能ですが、接種予約場所・接種予約枠を自治体が決めることができ、設定できることを前提としています
- 病院等が有する個別の予約システムとの連携は想定していません。病院等が有する個別システムとの連携を行う場合は、別途開発が必要になります。（その開発費用が別途かかります）



LINE

出典：LINEワクチン接種予約システム説明会資料